

改憲・労組破壊 許すな

11・4全国労働者集会に4800人



11月4日、関西生コン支部、港合同、動労千葉、国鉄闘争全国運動、改憲・戦争阻止！大行進の5団体の呼びかけによる11・4労働者集会が開催され、4800人が集まりました。集会冒頭に関西生コン支部への弾圧を許さない集会決議が読み上げられ、全体で確認。海外から韓国・民主労総ソウル本部26人、台湾から桃園市産業総労働組合の2人が参加しました。東京過労死を考える家族会が「働き方改革」との闘いのアピール。第2部の改憲阻止！1万人大行進では各団体からの発言、歌や朗読劇などが行われました。集会後、改憲発議阻止、安倍政権打倒を訴え銀座デモに出発しました。

千葉県労働委員会宛署名

6662筆 (11月16日現在)

解雇撤回まで不退転に闘う

国鉄闘争全国運動呼びかけ人 金元重



21回目を迎える11月全国労働者集会は、国鉄連帯も国鉄闘争も前進してきました。動労総連合は今年5月28日、1047名解雇をめぐる千葉県労働委員会に不当労働行為救済の申し立てを行いました。新たな労働委員会闘争です。

7月31日の第1回調査にJR東日本は弁護士も出席せずボイコットしました。「JRは使用者ではないから不当労働行為の責任はない」というものでした。労働委員会はその言い分に迎合するかのようになり、9月10日の第2回調査で村上典子公益委員は、調査を打ち切り、事実調べを拒否し、「公益委員会議で結論を出す」と言い放ちました。証人を呼んでの事実調べを行わず門前払いなど許せません。当該の小玉忠憲さんは「俺たちは命懸けで闘ってようやく真実

権力の攻撃で組合幹部が成長

全日本建設連帯労働組合 関西地区生コン支部執行委員 荒川勝彦



改革などの採決を強行して資本主義の延命を図っていますが、破綻の道を進んでおります。特に経済政策の失敗が顕著であり、オリンピック・パラリンピック後は日本経済が破綻することは火を見るよりも明らかです。

安倍政権は自らの延命に固執し、闘う労働組合を弾圧する。この先には戦争があるのです。現在、関生支部にかけられている弾圧ですが、大阪広域生コン協会の4人組と差別排外主義グループとの闘いは、現象面にすぎません。この弾圧は安倍政権による政治の私物化とファシシヨ的手法による攻撃です。民衆やJR東労組への攻撃など、闘う労働組合、市民団体への攻撃を本質とするものです。他方で、連合や民間労組を取り込んでいるのです。安倍政権は、特定秘密保護法、集団的自衛権の解釈変更に基づき戦争法、共謀罪、働き方

を見つけた。話を聞かないのか。JRを出席させる。証人調べを行え」と30年の思いをたぎつけました。動労千葉の田中委員長は、「これは労働委員会の自殺行為だ」と糾弾しました。私たちが新たに労働委員会闘争に踏み出したのは、不当労働行為の新たな真実が出て、15年6月の最高裁判決で不当労働行為が認められたからです。

労働者の権利と生活を守るためにストを打ちぬぎ、人権侵害を許さず、反戦平和を掲げて行なう。闘う労働組合への攻撃は、闘う条件を敵が与えており、反面教師として反撃を展開することが自主防衛の道なのです。沖縄の新天地を認めない仲間、福島原発反対の仲間、戦争法、共謀罪施行を認めない全

からです。闘う労働組合が先頭に立つて行動することで、何をしたいかわからず特権階級に取り込まれている労働組合や、閉塞している若者に希望が持てるようになる。改憲阻止と労組破壊攻撃を打ち破るために特権階級の本質を暴露する行動を展開し、職場の仲間にも働きかけていきましよう。労働現場では原則で闘うことが必要です。ストだけでなく、組織を拡大するなど地道な活動を粘り強く継続することが重要です。その活動を継続して結果を出すことにより、安倍政権を倒すことができるのです。関生支部は労働組合の社会的任務として、経済闘争、政治闘争、思想闘争の三位一体とする原則で闘いを継続して弾圧をはね返し、必ず勝利します。

員会自身が、労働委員会解体に手を貸しているのも同然です。弁護団は直ちに忌避を申し立てました。これに対して千葉県労働委員会は9月21日に忌避申し立てを却下しました。しかし、私たちがこの重大事態を決してあきらめない決意を固め、行政訴訟の提訴を決断しました。10月22日、千葉県労働委員会の忌避申し立て却下の取り消しを求める行政訴訟を千葉県地方裁判所に提訴。判決確定までの間、労働委員会における審査の停止を求める仮の義務付けの申し立てを行いました。

今回の行政訴訟は、1047名解雇撤回まで断固として闘う私たちの不退転の決意の表れであり、新たな闘争の開始であり、労働委員会制度の解体を許さない闘いです。

からです。闘う労働組合が先頭に立つて行動することで、何をしたいかわからず特権階級に取り込まれている労働組合や、閉塞している若者に希望が持てるようになる。改憲阻止と労組破壊攻撃を打ち破るために特権階級の本質を暴露する行動を展開し、職場の仲間にも働きかけていきましよう。労働現場では原則で闘うことが必要です。ストだけでなく、組織を拡大するなど地道な活動を粘り強く継続することが重要です。その活動を継続して結果を出すことにより、安倍政権を倒すことができるのです。関生支部は労働組合の社会的任務として、経済闘争、政治闘争、思想闘争の三位一体とする原則で闘いを継続して弾圧をはね返し、必ず勝利します。

